

開設年度	開設学部	開設学期	授業区分	担当教員	対象学年	授業科目番号	単位数
	東アジア研究科	前期/後期	演習	中田充	1/2/3		1
授業科目名	特別研究(特別研究1)						
英文名	Dissertation Supervision(Dissertation Supervision 1)						
使用言語	日本語						
一般目標	最終的には「自立的な研究能力を持つこと」を目指して、「論理的表現能力」と「査読の能力」を点検し、査読論文を作成できるレベルまで高める。研究行動規範に基づいた行動を態度として身につけるよう留意する。						
授業の到達目標	1. 情報システム及び情報教育の分野について、概論的知識を身につけており、内容や方法について自力で説明できる。 2. 情報システム及び情報教育の分野について、専門研究文献を独力で読解し、論理的に説明できる。 3. 研究において、いつでも研究者行動規範に留意して行動できる。						
授業の方法	情報システム及び情報教育の分野の基本文献を文献リストに基づいて、継続して読んで概要を報告する。 その中から、問題意識の発展と査読論文、学位論文への研究の方向性を模索しつつ、基盤演習の報告内容を話し合いながら決めてゆく。 基盤演習におけるプレゼンテーションとコミュニケーション能力の獲得と研究者行動規範に基づいた態度に留意する。						
授業計画	第1回	文献リスト1について報告する。基盤演習第1回報告内容について打ち合わせを行う。					
	第2回	継続して文献リスト1について報告する。基盤演習第1回報告内容を点検する。					
	第3回	続いて文献リスト1について報告する。基盤演習第1回報告について成果を分析、反省する。第2回報告に向けて内容検討を開始する。基盤演習の結果にしたがって文献リスト2を作成・手交する。					
	第4回	文献リスト2について報告する。第2回基盤演習報告の内容について打ち合わせを行う。					
	第5回	続いて文献リスト2について報告する。第2回基盤演習報告の内容を点検する。					
	第6回	続いて文献リスト2について報告する。第2回基盤演習報告について内容を検討し、反省を行う。基盤演習の成果に基づいて文献リスト3を作成・手交する。					
	第7回	文献リスト3について報告する。休暇中の研究計画、及び最初の論文作成/学会報告について打ち合わせを開始する。					
	第8回	続いて文献リスト3について報告する。休暇中の研究計画を確定し、最初の論文作成/学会報告についてさらに打ち合わせを行う。					
成績評価基準	報告と質疑応答を通じて、以下の点を評価する。 1. 情報システム及び情報教育の分野についての基礎知識や基礎技法が身につけており、説明できるまでに達しているか(30%) 2. 研究についてプレゼンテーションとコミュニケーションの能力を備えているか(30%) 3. 研究意欲があり、問題意識の発展が見られ、それに沿って論文作成や学会報告が展望できるか(20%) 4. 研究者行動規範を十分に理解しており、これに沿った行動ができているか(20%)						

開設年度	開設学部	開設学期	授業区分	担当教員	対象学年	授業科目番号	単位数
	東アジア研究科	後期	演習	中田充	1/2/3		1
授業科目名	特別研究(特別研究2)						
英文名	Dissertation Supervision(Dissertation Supervision 2)						
使用言語	日本語						
一般目標	最終的には「自立的な研究能力を持つこと」を目指して、査読論文を作成できるレベル「論理的表現能力」と「挙証の能力」を基礎にして、査読論文の作成(加えて学会報告)の実行能力を身につける。研究行動規範に基づいた行動を態度として身につけるよう留意する。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報システム及び情報教育の分野について、既存研究の状況を概略理解しており、自ら記述して明示できる。 2. 情報システム及び情報教育の分野について、自ら問題意識に基づき独創性のある論文を執筆・構成する能力を持つべく努力している。 3. 研究計画に沿って研究を進捗させ、必要があれば研究計画を再検討・再構築できる。 4. 研究において、いつでも研究者行動規範に留意して行動できる。 						
授業の方法	<p>予定されている投稿論文(学会報告)の課題・目的、構成、内容について逐次報告を受けつつ、助言指導により完成度を高める。</p> <p>研究計画に基づいた研究進捗に留意し、問題があれば研究計画の再検討・再構築について助言指導する。</p> <p>プロジェクト演習での報告内容と結果の検討に基づき、報告の手法や展開順序について問題があれば指摘し改善するよう助言指導する。</p>						
授業計画	第1回	論文投稿、学会報告の予定を含む学位論文に至る研究計画について詳細に検討し、「学位論文作成計画書」を作成する。作成中の論文草稿を検討する。第1回プロジェクト演習の報告課題について検討する。					
	第2回	引き続き作成中の論文草稿を検討する。第1回プロジェクト演習の報告について内容を確定する。					
	第3回	第1回プロジェクト研究報告の成果を分析・反省し、第2回報告に向けて内容検討を開始する。投稿論文(学会報告)について検討を継続し完成度を高める。					
	第4回	第2回プロジェクト演習の報告内容について検討を行う。論文(学会報告)については、完成稿をめざし、期限が来れば投稿する。					
	第5回	第2回プロジェクト演習の報告内容を確定する。2本目の論文の構想について検討を開始する。					
	第6回	第2回プロジェクト演習報告の結果について分析・反省する。2本目の論文について、課題・目的、構成、内容の具体的な検討に入る。					
	第7回	2本目の論文について課題・目的、構成、内容を確定し、草稿執筆を開始する。休暇中の研究計画について検討を開始する。					
	第8回	2本目の論文の草稿について検討に入る。問題があれば課題・目的、構成、内容について再検討・再整理する。休暇中の研究計画を点検し、確実に実施できるようにする。					
成績評価基準	<p>報告と質疑応答を通じて、以下の点を評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報システム及び情報教育の分野の既存研究の状況について、自らの力で叙述し説明できるか(20%)。 2. 査読論文の投稿(あるいは学会報告)等、情報システム及び情報教育の分野の研究について創造性を持つ貢献を試みているか(40%) 3. 自らの問題意識に基づいて研究計画を立案し、これに沿って研究を遂行できる能力を持つか(20%) 4. 研究者行動規範を十分に理解しており、これに沿った行動ができているか(20%) 						